

(様式)

平成 27 年度 IPM モデル展示ほ 成果情報

カーネーション栽培における赤色ネットと光反射資材を活用したアザミウマ類の防除対策

要約

カーネーション栽培で赤色防虫ネット、光反射資材を利用することで、アザミウマ類の密度抑制に高い効果があることが認められた。

また、ネット設置初年目は設置労賃が発生するため、経営費は増加したが、二年目以降の経営費は同等であると考えられる。

○ 展示のねらい

物理的防除資材を活用することで、化学農薬低減技術の効果を実証し、経営的な効果を検証する。

○ 主な成果

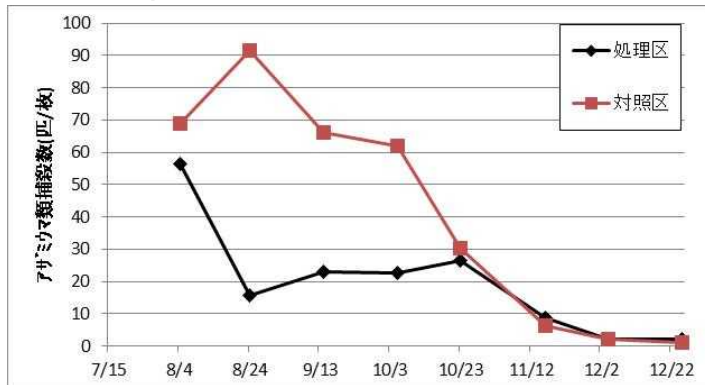


図 1 アザミウマ類の捕殺数の推移(青色粘着板 1 枚当たり)
注意 青色粘着板を 138 枚/10a 設置し捕殺数を調査

表 1 アザミウマ類防除に関する経営費の比較(10a 当たり)

	薬剤・資材費(円)			労賃(円)			経費合計(円)		
	化学農薬	天敵	防虫ネット反射マルチ	合計	化学農薬散布	天敵散布	防虫ネット反射マルチ設置	合計	
処理区	10,660	—	27,012	37,672	6,083	—	16,000	22,083	59,755
対照区	27,812	—	—	27,812	14,583	—	—	14,583	42,395
処理区/対照区(%)	38.3	—	—	135.5	41.7	—	—	151.4	140.9

注 1. 試算の期間は平成 27 年 7 月 15 日から 12 月 31 日

2. 労賃は 1,000 円/時間で試算

3. 防虫ネット、光反射資材の資材費は耐用年数を 3 年として試算し本年分のみ記載

4. 化学農薬は、アザミウマ類の防除に対してのみ試算

- ・物理的防除資材は赤色防虫ネット、光反射資材を用いた。
- ・例年発生の多い夏から秋にかけて、処理区(防虫ネット、光反射資材併用)は、対照区に比べアザミウマ類を低密度に抑えることができた(図 1)。
- ・経営費の合計は、処理区が対照区の 140.9%となり経費は増加した(表 1)。二年目以降は防虫ネット、光反射資材の設置労賃がなくなるため、同等の経営費になると考えられた。

○ 今後の方向性

赤色防虫ネット、光反射資材はアザミウマ類の密度抑制に高い効果があることから、普及性はあると考えられる。また、他の害虫に対しても防除効果が認められるため、それらの効果についても検討する。

実施機関： 塩谷南那須農業振興事務所経営普及部 実施場所： 那珂川町

問合せ先： 栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315